

福岡・博多の着地型観光商品『福たび』の募集について

ねらい

2011年(平成23年)春の九州新幹線の全線開通や、中国からのクルーズ客船の来航回数の増加などといった、国内外からの集客のチャンスをとらえ、本市への集客交流の促進を図るための施策を実施することにより、**本市経済の活性化を図る。**

体験交流などの福岡・博多における隠れたまちの魅力を発掘するような、地域密着型の観光商品(「**着地型観光商品**」)を**広く募集**

これらの商品群に「福たび」という名前を付ける

プロモーションや各種サポートなどを**支援**

福岡・博多の魅力を紹介する観光商品を多く提供できるようになる

旅の喜びや発見, 感動を提供
(満足度の向上)
リピーターになってもらう
「また福岡に行きたいね」

新たな福岡ファンを増やす
多くの方に福岡に足を運んでもらう
「福岡に行ったけど楽しかったよ」
「福岡に行ってみようかな」

集客の拡大を図る

観光立国推進基本法
(平成18年12月)

観光庁の新設
(平成20年10月)

国をあげて観光に注力

定住人口 1人分の消費額



=

外国人旅行者 7人分の消費額



人口減少社会(定住人口の減少)

↓
交流人口を増やすことが
地域消費の重要なポイント!



様々な分野に消費が波及→ **観光は地域への波及効果**が大きい
地域経済の活性化が期待される

すでに各地で、このような観光に関する行政の取り組みが行われており、地域の活性化につながるものとして、積極的に取り組まれてきている。

【近年の旅行の主な傾向】

- 団体旅行に替わって個人旅行が中心
- 旅の楽しみ方も多様化
- その地ならではの体験交流のニーズの高まり

旅行先で申し込み、少人数を対象とした地元の方々による体験交流ツアーである「着地型」の観光商品が注目されてきている。

「着地型観光」

地域ならではの観光資源を活かした、地元の方々による体験交流などの観光商品

- 地元の方の協力をお願い
- 少人数を対象とするため収益を厳しく見極める必要

民間ではこれまであまり提供されておらず、近年、地域活性化の観点から国の観光庁や地方自治体がその立ち上げについて支援を実施



中国のクルーズ客船の来航回数の増加など

↓
本市としても、集客のチャンスを活かし、観光による経済の活性化を図る必要



しかも、本市には他に負けない福岡・博多ならではのまちの個性を持っている

都会に近い豊富な自然

おいしい食べ物

中国など東アジアに近い地理条件

商人のまち博多と
武士のまち福岡の共存

祭り好きで情に厚い
市民の気質

これらの個性を活かした観光商品「福たび」が、

- 旅行業の方だけでなく、地元で活動する市民の団体から多く生まれる
- 観光資源が磨かれ、新たに発掘されてまちの魅力を高める
- 国内外からの集客が拡大する
- 本市での滞在時間が長くなることで消費の拡大につながっていくことを期待

応募について

【応募の締切】

第1次選考分 平成21年 8月31日 月曜日まで

第2次選考分 平成21年10月31日 金曜日まで

※第1次選考分では、9月18日から5回来航するクルーズ客船に提供できる商品を作成

【今後の進め方】

第1次選考による商品化は随時実施。

第2次選考の後、随時商品化。

来年1月に揃った「福たび」商品をパンフやウェブでプロモーションを行う予定。

【応募に当たっての説明会】

第1回説明会・・・平成21年8月21日(金) 15:00～

福岡市職員研修センター405会議室

(福岡市中央区天神1丁目6番8号 天神ツインビル4階)

※2回目以降は2週間に1回ペースで実施

日時・場所は福岡観光コンベンション

ビューローのホームページでお知らせ

説明会での質疑応答も同ホームページ

で公開予定

応募状況にもよるが、商品数として20コース、合計で500人の実施を目指す

(問合せ先) 経済振興局集客交流部誘致宣伝課 担当 豊福, 若松
711-4355 (内線2564)